

自費  
無症状

# 新型コロナウイルス PCR検査 ご案内

無症状の方、県外出張等で陰性証明が必要である方などを対象とした自費によるPCR検査を行います。

**対象者** 無症状の方、陰性証明が必要な方  
※体調不良者や濃厚接触者の検査は行っておりません

**検査方式** 唾液採取によるPCR検査 

**検査結果** 当日中に電話にて結果報告

**費用** 税込 11,000円  
(検査後、総合窓口にてお支払い)

**予約受付** ご予約希望日の4日前の正午まで

**予約方法** WEB予約のみ  
⇒ 下のQRコードを読み取ってください



<https://reams-reservesys5.info/hy50000user/Logi n?jigyoid=1>

## WEB予約画面



あらかじめ利用者登録が必要です。  
赤い矢印のところからお進みください。  
※要メールアドレス



新潟リハビリテーション病院 私たちは、皆様に愛され、信頼される病院を目指します。

広報誌

# 歩み

2021  
Dec.

12月



## 新潟リハビリテーション病院 20年の歩み

院長 山本 智章



新型コロナ感染症の拡大に翻弄されながら1年半が過ぎました。ワクチン接種も進み、様々な制限も解除されるなど光が少し見えてきたこの頃です。

2001年の4月に開院した新潟リハビリテーション病院は昨年、コロナ禍に20年目を迎えました。新潟地域の初めてのリハビリテーション専門病院として療養病床を中心にスタートしましたが、医療制度の変化や社会的ニーズに伴って病床機能は変遷を遂げ、現在は一般、回復期、地域包括ケアの3種類の病床を有するケアミックスの病院として様々な疾患の治療やリハビリテーションに対応しています。

病院の機能としてリハビリテーション科は回復期病床をフル活用して脳卒中、脊損、多発骨折など最大限の回復が得られるよう多職種でのリハビリを提供します。整形外科はスポーツ障害、変形性関節症に力を入れ、最先端の機器や技術で手術対応も行います。内科は非常勤医師の協力も多くあり、地域包括ケアを実践しております。昨年か

ら神経内科医師が常勤になり、神経難病やパーキンソン病にも対応できるようになりました。歯科も変わらずに診療を継続し、地域の皆様から厚く信頼されております。

これまでの20年を振り返るといつも考えていたことは、この新潟医療圏の中で当院がすべきことは何か、求められているものは何か、その責任を果たすためには何が必要か、試行錯誤の中での20年の歩みでした。そしてどんな時にもまず優先しなければならないことは安全に患者様に医療を提供できるということ、職員スタッフが安心して仕事ができる環境にいることであると思います。

これからも患者様のため、地域のため、新潟リハビリテーション病院はチャレンジを続けていきます。応援いただけますようお願い申し上げます。



## ロボットスーツHAL® 導入のお知らせ

2022年1月より、ロボットスーツHAL®を導入します。  
神経系や筋肉の難病患者さんに対して、ロボットスーツHAL®を導入したリハビリを開始する予定です。  
お問い合わせは、当院医療相談室までご連絡ください。

医療相談室 TEL 025-388-2120

発行

広報誌  
歩み

発行月 2021年12月  
発行者 新潟リハビリテーション病院  
院長 山本 智章

所在地 新潟県新潟市北区木崎761番地  
TEL (025) 388-2111  
FAX (025) 388-3010  
URL <https://www.niigata-reha.jp/>



ホームページ



## 回復期リハビリテーション病棟 について

回復期病棟に入院される患者さんは、脳卒中や頭部外傷、脊髄損傷、神経内科疾患、また脊椎圧迫骨折や大腿骨頸部骨折術後など、多岐にわたります。

お一人お一人、ご職業、ご家族構成や、ご本人の体力や既往症、病前の身体能力・認知機能など、一人として同じ患者さんはおられません。また、ほとんどの患者さんは、予期せず、病気や外傷が急に訪れた状態であるため、その出来事、また結果としての後遺症、をすぐには受け入れられないのが現状です。落ち込みや傷つきやすい気持ちを理解しつつ、少しずつでも前進できるようにお手伝いしたいと考えております。

その上で、各々の患者さんの状態に合わせた、体力の回復、日常生活動作の自立（或いは介助量を減らす）、自宅への復帰、可能な方は車運転や仕事への復帰ができるようお手伝いいたします。

上述のように神経の症状や痛みは急に訪れるものですが、その回復となると月単位の時間がかかります。他の人と比べたりせず、昨日・先週・先月の自分より一歩前進できることこそが大切と考えて、さらに明日・来週・来月への改善に繋いでいけるよう支援させていただきます。

私たちの回復期病棟では、多職種が丸となって、ご自宅へ退院できるよう支援させていただきます。

リハビリでできるようになった動作を、普段の生活の中でも行えるように、病棟で行ってゆきます。栄養管理、メンタルケア、内服薬の調整、更に合併症の予防・対処など様々なことに対応してゆきます。

さらに、家屋写真・見取り図や家屋訪問による情報収集を行い、家屋改修や退院後の家屋状況の調整を行います。

また、介護保険や身体障害者手帳の申請など、今後利用できる制度の紹介も致します。入院された患者さんやご家族からのご意見も頂きながら、改善していければと思っております。

どうぞよろしくお願ひいたします。



### リハビリテーション実績 (2020年度)

在宅復帰率

88.1%

リハビリテーション提供単位

1日当たり **7.1単位**(365日提供)

疾患別リハビリテーション料  
内訳

- ・脳血管リハ **90.9%**
- ・運動器リハ 9.3%
- ・廃用性リハ 0.6%

重症患者割合(10点以上)

44.3%

うち4点以上改善した患者

57.1%

## 認定看護師のご紹介



当院には認定看護師が3名おり、各分野のスペシャリストとして院内・外で活躍しています。

認定看護師の目的は、「特定の看護分野における熟練した看護技術及び知識を用いて、水準の高い看護実践により看護ケアの広がりや質の向上を図ること。」

役割として、実践：指導：相談：等があります。今回認定看護師の看護への熱い思いについてご紹介したいと思います。

看護部長 中川 マユミ



### 脳卒中リハビリテーション看護 認定看護師

山田 友美

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師は、様々な障害を抱えた患者・家族に対し、生活の再構築のためのケアを行い、住み慣れた地域でその人らしい自立した生活が送れるように支援することが役割です。回復期病棟では、出来ること・出来ないことの原因を見極め、患者さん自身の力で出来るように工夫します。

病棟生活の中で繰り返し行う動作が効果的な練習になるよう、多職種で連携しながら支援をしています。また、脳卒中は死因の第4位、寝たきり要因の第1位を占める病気です。再発予防の為に生活習慣改善についてもお手伝いし、その人らしい自立した生活を一緒に考えて行きたいと思っています。



### 摂食・嚥下障害看護 認定看護師

太田 みちる

摂食嚥下(せっしょくえんげ)障害とは、飲み込むことが難しくなるなどの理由で食事が安全に十分な量を食べられなくなってしまうことです。食事を食べると

いうことは、美味しく味わう、家族や友人と楽しい時間を共有するといった栄養補給以外の役割もあります。そんな人生の楽しみである食事を、少しでも長く安全に口から食べられるように院内スタッフと協力して取り組んでいます。

### 認知症看護認定看護師

菅沼 里菜

認知症ケアの理念である「パーソン・センタード・ケア」といわれる、「年齢や健康状態にかかわらず、全ての一人一人の個性に応じた取り組みを行い、認知症を持つ人の視点を重視し、人間関係の重要性を強調したケア」を念頭に置き、認

知症の方が少しでも安心して住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、みんなで情報共有しながら、一緒に知恵を出し合って認知症の方やその家族、認知症の方を取り巻く多くの方々笑顔で関わっていけるようなお手伝いをしていきたいと考えています。

